

ともに励め合い ともに高め合う たくましい飯野っ子の育成
～あったか・学び・元気～

みんな「いいの」大作戦!



富津市立飯野小学校
学校だより
No. 22
令和7年2月27日
土居 浩紀



飯野小ホームページ

努力を重ねて本番を迎えることの大切さ

先日、1年生の保護者の方から「縄跳びが苦手だったのですが、先生や友だちのアドバイスで跳べるようになり、練習を頑張っている」という内容の連絡帳が届いたのを拝見しました。数日後、「30回跳べるようになった」と連絡帳が届きました。毎日こつこつ努力を続けていて、どんどん上達しているようです。また、2月15日の君津市のなわとび大会を見に行った際、参加していたお子さんの保護者の方から「今の自分の実力と起きるはずもない奇跡を信じて出場しているんです。もっとこつこつと練習すればいいんですけどね…」という話を聞きました。

朝日新聞にアメリカ大リーグで活躍中の菊池雄星投手のロングインタビューの記事がありました。「少しずつうまくなるのではなく、コツをつかむと一気にうまくなります。練習するのは、うまくなるきっかけをつかむため、そのチャンスは100回練習するよりも1千回練習した方が多くなる。努力は、ひらめくためにするんです(2024年12月10日付け朝日新聞より抜粋)」とありました。縄跳びでも鉄棒でも水泳でもサッカーでも野球でも勉強でも・・・努力の成果は、だんだんに訪れるのではなく、ある日突然できるようになるものなのです。毎日こつこつと努力を続けているとそのチャンスが巡ってくるようです。最初からできる人はいません。できなくてもあきらめずに、こつこつと努力を重ねる力を身に付けていって欲しいです。

あるマンガから名言を紹介します。「努力した者がすべて報われるとはかぎらん。しかし、成功した者は皆すべからく努力しておる。」努力を継続することの大切さを感じる言葉です。



スマホ・携帯・ゲーム・SNS・学区外での遊び・・・

お子さんにスマホや携帯を持たせるか悩んでいる、スマホや携帯を持たせたけど使い方で悩んでいる・・・そんな声を耳にします。2025年1月、モバイル研究所が発表した「小中学生のスマホ調査」によると、スマホ・キッズ携帯の所有率は、小1～3年で28%、小4～小6年で64%とのことです。一方で、持たせることによる「依存症」「健康への悪影響」「SNSトラブル」「個人情報の悪用」等を心配している保護者が9割以上いることも報告されています。

飯野小でも、帰宅後のSNS、ゲーム、遊び等による友だちトラブルによって、学校生活に影響が出ているお子さんがいます。また、学習で使うタブレットが時間でやめられず、イライラしてしまうお子さんもいます。学校としても対応に困っているところです・・・。

そもそもスマホや携帯を持たせる目的は何でしょう？一番は「お子さんの安全を守るため」なのではないでしょうか。それが不安材料になっているとしたら、本末転倒です。家庭でのルールづくりの際には、必要性や目的から話し合うことが大事だと思います。

また、放課後の遊びについても、各家庭で話し合っ、ルールを考えてみてはいかがでしょうか。各家庭で事情は違います。「みんなが持ってる」や「みんながやってる」という声に惑わされず、「わが家では・・・」というルールを考えることは、トラブル防止の第一歩です。学年末・学年始め休業を控えた今、各家庭の御協力をお願いします。

学校では・・・

○スマホ・携帯の所有、ゲームの利用については、家庭でルールづくりをお願いしています。

～ルールについて～

- ・親と子で一緒に話し合いながらつくる
- ・作ったルールは、定期的(学年が上がる、長期休みの前など)に親子で見直す
- ・ルールを破った時の対応を決めておく

○学校で使用するタブレットは、学習のために使います。(市のルールです)

○保護者の許可なく、学区外に子ども同士で遊びに行くことは禁止しています。

○子ども同士でのお金や物の貸し借り(おごり・おごられ)等は禁止しています。

寒い季節に縄跳びは体を温めるのに最適だと思います。縄一本あれば、一人でこつこつ練習できたり、できなかった技ができるようになったり。1年生の縄跳びの様子を見に行くと、「見てて」「数えてて」「こっちも見て」と大変です。夢中で跳んでいるうちにどんどん近づいてくるのも怖いです。寒い季節は、縄が当たると痛いです。(土居)